

防災士って何ですか？

最近、ときどき耳にするようになった「防災士」。実際、どんな活動をしているのか知っていますか？

全国的に自然災害が多発する中、地域のリーダーとなる防災士の資格を取得する人は年々増えています。

今回は、安中市社会福祉協議会にお勤めの土屋誠さんに、まだあまり知られていない防災士の活動や地域防災への思いについてお聞きしました。



ー防災士を取得しようと思ったきっかけは何ですか？

12年ほど前から地元の消防団に所属しており、また令和元年10月の台風19号の際は家族も避難を経験しました。社協の仕事は、災害やボランティアに関係することも多く、防災講座などを開く機会もあるので、防災士の資格を取ろうと思いました。

ー防災士としてどんな活動をされていますか？

今まではコロナ禍であまり活動ができませんでした。2月に市内の防災士に呼びかけ、防災学習ボランティア養成講座を開催し、市内の過去の災害について学んだり、防災ゲームを体験しました。

今後、小中学校や地域の育成会でワークショップや出前講座などを開き、子どもたちに防災の大切さを伝えていきたいです。

ー地域の防災力を高めるにはどんなことが必要だと思いますか？

さまざまな事情で自主防災組織がなかったり、訓練が十分にできない地域もあると思いますが、まずは自分たちや、住んでいる地域の防災・課題についてまず意識していただくことが大切だと思います。

ー最後に、防災士を目指そうと考えている人にアドバイスと、今後の抱負をお願いします

防災士の講座は一般論から各論まで、防災に関する幅広い知識が身につきます。また、自分がこれまで考えていた防災や減災対策も、年齢や家族構成によってさまざまな形があると気づかされた点もあります。

私たち地域のイベントに積極的に参加することで、ワークショップの開催などを通じて防災士としての知識や経験を市民の皆さんに伝え、一緒に協力していける場が増えれば良いと思っています。

防災士制度は、阪神・淡路大震災の教訓をもとに**自助・共助・協働**による地域防災力の向上を図るため、平成15年に認定NPO法人日本防災士機構により創設され、全国で約25万7千人、県内では約2,500人が登録されています。

県の養成講座を受けて資格を取得した市民は3月末現在で27人おり、このほか民間機関が行う講座を受けて取得することもできます。

**安中市は
「防災士」取得を
支援します**

地域における防災活動の中核を担う防災士を養成することにより、住民の防災に関する知識の向上と意識の高揚を図り、地域防災力を強化することを目的として、防災士の資格取得者に対して補助金を交付します。

詳しくはこちら▶

